

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和6年第45週(11月4日~11月10日)及び10月の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内(平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	43週	44週	45週	45週	45週
インフルエンザ	0	0	0	0.97	1.06
新型コロナウイルス感染症	1.25	0.25	0.25	0.70	1.47
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.24
咽頭結膜熱	0	0.33	0	0.18	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.33	0.33	2.39	1.68
感染性胃腸炎	0.67	1.67	3.00	1.09	2.45
水痘	0	0	0	0.16	0.19
手足口病	●11.67	●7.67	●9.33	●3.18	5.74
伝染性紅斑	0	0	0	0.05	0.36
突発性発疹	0.33	0	0.67	0.14	0.23
ヘルパンギーナ	●7.00	●2.67	1.33	0.16	0.12
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.03
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				0.38	0.45
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	1.00	1.00	2.00	2.43
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0.08	0.01

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】

手足口病が流行しています

手足口病は、その名のとおり四肢及び口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発生が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。

主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

第45週の報告数は140人で、前週より47人少なく、定点当たり報告数は「3.18」ですが、警報レベルの報告数が21週間継続しています。定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所(15.50)、県北保健所(9.33)、壱岐保健所(5.50)で、10保健所のうち6保健所で警報レベルの報告数が継続しています。

年齢別では1歳(37人)、2歳(25人)、4歳(22人)の順に多いです。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。

【トピックス】

マイコプラズマ肺炎の報告数が増加しています

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌による感染症です。全年齢で1年を通して報告があります。

感染経路は、患者の咳やくしゃみを介した飛まつ感染や病原体が付着した手やロや鼻に触れることによる接触感染があります。2~3週間の潜伏期間の後、発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などが見られます。咳は、解熱後も3~4週間続くことがあります。まれに重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの合併症がみられることもあります。

2024年45週の定点当たり報告数は、「2.00」で、前週より減少していますが、前週(第44週)には、現行の調査方法となった平成11年以降最多の定点当たり報告数(2.50)となりました。地区別では、長崎地区(4.67)、佐世保地区(4.00)が多くなっています。5~9歳(9人)、10~14歳(7人)、0~4歳(4人)の順に多くなっています。

予防には、手洗いやうがいを徹底することが大切です。咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

長崎県感染症発生動向調査速報(月報)

2024年10月 2024年10月1日(木)～2024年10月31日(木) 2024年11月14日作成

☆疾病別・保健所管内別発生状況 (2024年10月)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										計
	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬	
性器クラミジア感染症 (定点当たり報告数)	8 4.00	7 2.33	- -	1 1.00	2 1.00	0 0.00	2 2.00	- -	- -	- -	20 2.00
性器ヘルペスウイルス感染症 (定点当たり報告数)	4 2.00	0 0.00	- -	1 1.00	4 2.00	0 0.00	0 0.00	- -	- -	- -	9 0.90
尖圭コンジローマ (定点当たり報告数)	0 0.00	0 0.00	- -	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	- -	- -	- -	0 0.00
淋菌感染症 (定点当たり報告数)	1 0.50	1 0.33	- -	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	- -	- -	- -	2 0.20
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (定点当たり報告数)	6 6.00	10 3.33	2 2.00	1 1.00	29 29.00	1 1.00	1 1.00	3 3.00	0 0.00	3 3.00	56 4.67
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (定点当たり報告数)	0 0.00	2 0.67	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.25
薬剤耐性緑膿菌感染症 (定点当たり報告数)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

☆7疾患のグラフ

